

令和2年度の北海道ブロックの 災害廃棄物対応の検討について

○ 目的

北海道ブロック自治体の災害廃棄物対応の実効性向上

○ 実施内容・検討内容

北海道ブロック
協議会の開催

各構成員との情報
共有・意見交換

回数:2回



項目	内容
(1)人材育成事業の 試行	ワークショップ 対象:協議会構成員,随行者 等
(2)協議会が目指す5 年後のビジョンにつ いて	協議会が目指す5年後までの ロードマップ案の作成
(3)胆振東部地震の 災害廃棄物対応に関 する記録誌の作成	記録誌取りまとめ

2回開催

(1)人材育成事業の試行

項目	内容(想定)
形式	ワークショップ 2回
時間	概ね3時間以上
対象	協議会構成員、随行者等
人数	(6名程度/1グループ) * 6グループ程度

ブロック協議会と同日に実施

(2)協議会が目指す5年後のビジョンについて

北海道ブロックにおける**計画策定状況、人材育成、相互連携、適切な協議会構成員とその役割**などについて、現状を分析の上、平時の備えや発災時の対応強化の観点からの**協議会が目指すべき5年後までのロードマップ案**を作成する。

協議会の議事等により、必要に応じ検討事項を追加する。

(3)胆振東部地震の災害廃棄物対応に関する記録誌の作成

「平成30年度北海道胆振東部地震により発生した災害廃棄物処理の記録誌」を作成する。

項目	内容
データ収集・ヒアリング等	<ul style="list-style-type: none">• 災害廃棄物発生量・処理フロー等の取りまとめ• 各主体における対応の振り返り• 被災各市町で発災後に起きた問題とその対応• 道内全域停電によって生じた施設管理への対応や発生した腐敗性廃棄物への対応• ボランティアとの連携等
考察	<ul style="list-style-type: none">• 今後の災害廃棄物処理の対応に向けた改善点等